

わじま
輪島地区
(石川県輪島市)

- 計 画 期 間 平成 18 年度～平成 22 年度
- 面 積 47 h a
- 交付対象事業費 7,306 百万円
- 市人口 24,442 人

ポイント 滞在型交流都市への転換を目指して
～いつまでも、のんびりいたくなる
漆の郷づくり～

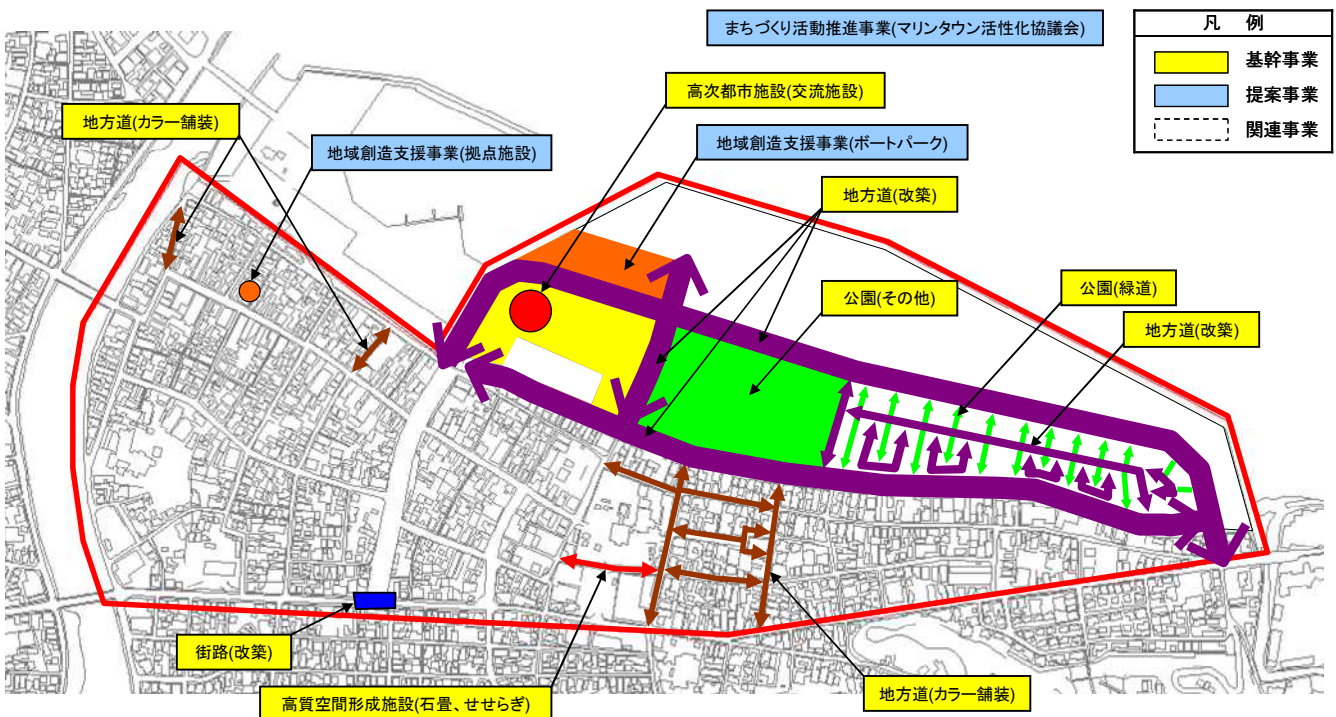
地区概要 輪島朝市の玄関口における観光交流施設等の基幹事業や朝市通りにおける拠点施設等の提案事業を行うにより滞在交流型のまちづくりを目指す。

目 標 回遊性の向上による滞在時間と宿泊者数の増加
漆文化の活用と発信による輪島塗を楽しむ時間の増加
マリンタウンにおける機能の充実と中心部との相互連携による魅力の向上

指 標 滞在型交流都市を実現するため輪島を訪れる観光客の入り込み数を目標とした。

観光客数	1,378,100 人 (H15)	→	1,400,000 人 (H22)
宿泊客数	208,840 人 (H15)	→	210,000 人 (H22)
輪島朝市入込客数	926,000 人 (H15)	→	1,000,000 人 (H22)

事業内容 基幹事業 (6,376 百万円)→道路(幅員 4.4m～18m、延長 3,896m)、高質空間形成施設(幅員 4.0m、延長 110m)、高次都市施設(1 箇所、1,150 m²)、マリンタウン公園 (1 箇所、2.5ha)、マリンタウン緑道 (幅員 2.0m、延長 830m)
提案事業 (930 百万円)→拠点施設整備(1 箇所、271 m²)、ポートパーク整備事業、マリンタウン活性化プロジェクト



地区の現況と課題

現況

地区周辺では平成10年前後から、まちづくり総合支援事業など各種事業により総合的なまちづくりが行われており、輪島地区では、輪島港を中心とした地域において用地を造成する輪島港マリタウンプロジェクトが実施されている。

課題

宿泊客数や輪島朝市の入込客数の減少、基幹産業である輪島塗の衰退、新市街地と既存市街地の連携等、各種の課題を有しており、マリタウンを中心とした整備を行い、滞在型交流都市を目指す必要がある。

提案事業の特徴

マリタウン活性化プロジェクト

新市街地マリタウンの魅力を向上させるため「輪島港マリタウン活性化協議会」を組織し、マリタウンの土地利用計画や景観ガイドラインの策定、企業や客船の誘致のための情報発信等、マリタウンの活性化を図る活動を行う。

拠点施設整備

輪島朝市に休憩所と一体となった情報案内機能を設置し、他地域のまち歩き情報提供拠点と連携した観光情報を提供することにより、回遊性を向上させる。

ポートパーク整備事業(マリタウン地区)

マリタウンにポートパークを整備することにより、新たな魅力の創出と、海から輪島を訪れる新たな交流人口の確保を図る。

計画策定プロセス

都市再生整備計画検討委員会

有識者、地元各種団体、市民、行政関係者からなる都市再生整備計画検討委員会を3回開催し、事業計画を策定した。

輪島港マリタウン活性化協議会

地元各種団体、行政関係者で組織する輪島港マリタウン活性化協議会を平成19年2月に設立した。



▲多くの観光客でにぎわう輪島朝市



▲輪島地区の整備が集中するマリタウン【整備前】



▲輪島地区の整備が集中するマリタウン【整備後】



▲拠点施設整備【整備前】



▲拠点施設整備【整備後】